

渋滞を減らす

→ 主要渋滞ポイント数

1 鳥取県の現状

鳥取県内には、鳥取市と米子市を中心に、慢性的に渋滞している「**主要渋滞ポイント**」が**22箇所**存在しています。
そのうち2箇所が平成16年度までに緩和しています。



2 昨年度の成果（達成度報告）

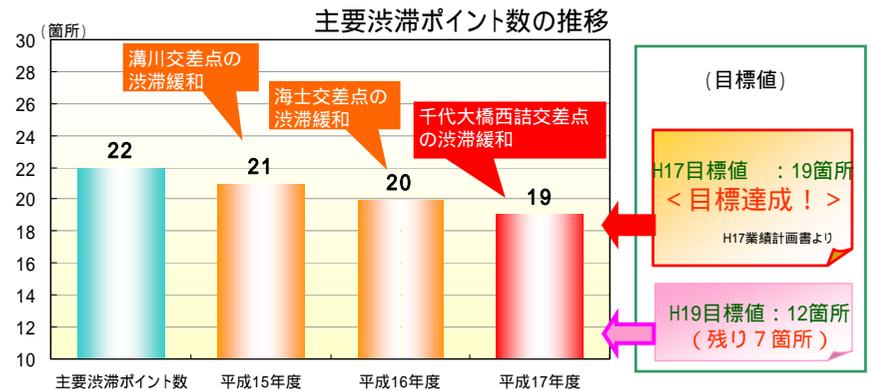
平成17年度には、主要渋滞ポイントである千代大橋西詰交差点において右折レーンを設置し、交通渋滞が解消したため**目標を達成しました**。

また国道9号白兔交差点及び日光交差点においても改良を実施し、効果はみられたものの、一部に渋滞が残っているため、今後も歩行者が通行の妨げとならないように横断歩道橋の整備等、引き続き対策を進めます。

H17年度完了事業箇所の一覧表

主体	事業箇所	事業内容	効果の内容	評価	備考
国土交通省	国道9号日光交差点	横断歩道延長の短縮	渋滞長が大きく減少	○	P20参照
国土交通省	国道9号白兔交差点 (白兔海岸周辺駐車場)	道の駅整備に伴う交差点改良	交通が集中する時期に渋滞が発生(ゴールデンウィーク等)	△	P21参照
鳥取県	千代大橋西詰交差点	右折レーン設置	渋滞が解消	◎	P22参照

◎：効果が大きな事例 ○：効果がみられた事例 △：十分な効果がみられない事例



具体事業
の成果

国道9号 日光交差点改良
～実験結果を踏まえて、改良を実施～

評価



事業内容

・H17年4月から実施した歩行者用青信号の短縮等の実験を経て、交差点改良を行い、横断歩道延長を短縮しました。

整備効果

・交通渋滞が緩和しました。(最大渋滞長が約40%短縮)
・しかし渋滞が残っているため、H18以降も継続して対策を実施します。



Plan 社会実験の実施

日光交差点の渋滞対策の有効性を検証するため、社会実験を実施。その結果、効果が高いことが分かりました。

バリケードを設置し、横断歩道の延長を短くすることにより、歩道側の青時間を短縮



Action 対策の継続

渋滞が残っているため、引き続き渋滞対策を推進します。

H18業績計画 (P.23)へ

Check 対策の効果検証



渋滞は大きく緩和！
しかし、依然として
700～850m残る

Do 社会実験の結果を踏まえ対策を実施

【H17の取り組み】

前出し部分の
構造物化

実験で効果が確認できたため、対策を実施（境界ブロック設置）

具体事業
の成果

国道9号 白兔交差点の改良
～道の駅整備に伴い交差点を改良～

評価



事業内容

・国道9号白兔に道の駅「神話の里 白うさぎ」が新設されることに伴い、交差点改良を実施し、右左折レーンを設置しました。

整備効果

・平日などの通常時には渋滞は緩和されました。
・しかし、週末やGW、夏休み期間等において観光交通の増加により渋滞が発生しているため、通過交通を迂回させる等の既存路線を有効に使う対策等を引き続き行っていきます。



Plan 道の駅新設に伴う渋滞対策の検討

国道9号白兔に新たに道の駅が新設され混雑が予想されるため、国道9号白兔交差点に右左折レーンを設置することにしました。

Action 対策の継続

案内板の設置や迂回マップの配布等により、既存道路を活用し、交通分散を図り混雑緩和を目指します。

Check 対策の効果検証

交差点改良により通常時には渋滞は緩和されましたが、GWやお盆の休日等において観光等の想定外の交通量増加により渋滞が発生。



夏休みにおける混雑状況

Do 渋滞対策を実施

【H17の取り組み】 上り側



下り側



左折レーンの
設置

右折レーンの
設置

具体事業
の成果

(主)鳥取鹿野倉吉線
千代大橋西詰交差点の改良
～右折車が原因の交通渋滞が解消～

評価



事業内容

・千代大橋西詰交差点の交通渋滞の解消を目指し、交差点改良を実施し、右折レーンを設置しました。

整備効果

・交通渋滞が解消しました。(最大渋滞長が約600m 0m)



Plan 渋滞の原因・目標の設定

千代大橋西詰交差点では、右折車両が原因の深刻な交通渋滞が発生していました。そこで、渋滞対策を実施し、渋滞長500m未満、通過時間を5分未満を目標に設定しました



Action 検証の継続

今後も引き続き、交通渋滞の発生動向について検証します。

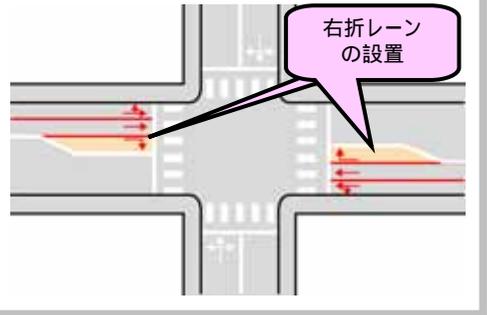
Check 対策の効果検証

対策により、東西方向の交通渋滞が解消(渋滞長0m)されました。



Do 渋滞対策を実施

【H17の取り組み】

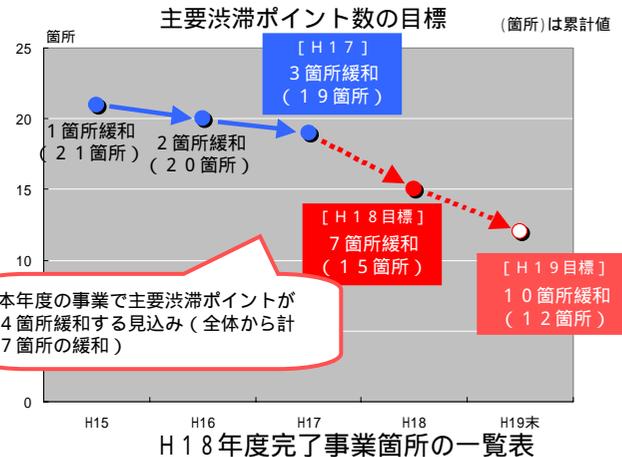


3 本年度のとりくみ(業績計画)

平成18年度では、4月1日から米子道路が無料開放されており、西原交差点及び二本木交差点における渋滞が大幅に緩和されました。

また他の交差点においても、早期の効果発現を目指し、国道9号の白兔横断歩道橋の整備、(県)猪ノ子国安線の上味野交差点の改良等を実施します。

よって、主要渋滞ポイントは4箇所緩和されることになり、アウトカム指標の目標値は、19箇所から4箇所を減じた15箇所と設定します。



H18年度完了事業箇所の一覧表

主体	路線名及び事業名	完了予定年月	期待される効果	備考
国土交通省	米子道路無料化	H18.4	西原交差点、二本木交差点の渋滞緩和	P24参照
国土交通省	国道9号白兔横断歩道橋の整備	H19.3	観光シーズン等における渋滞緩和	-
国土交通省	国道9号白兔渋滞対策(すり抜けレーン設置)	H18.11	日光交差点、下坂本交差点の渋滞緩和	P26参照
鳥取県	上味野交差点改良(右折レーン設置)	H18.9	交差点付近の渋滞緩和	P27参照

交流と連携

活き活きと

安全で安心

具体事業の期待される成果

山陰道(米子道路)米子東IC ~ 淀江大山ICが無料化 ~ 並行する国道9号の交通渋滞緩和に効果 ~

Plan・Do 米子道路無料化の実施(平成18年4月1日から)

山陰道(米子道路)は、利用料金がネックとなり利用率が低く、平行する国道9号では渋滞が発生していました。

そのため無料開放を実施しました。

平成18年4月1日、国土交通省が、山陰道(米子道路)の管理を、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構と西日本高速道路から引き継ぎました。



Check 対策の効果検証

Action 検証の継続

今後も引き続き、交通渋滞の発生動向について検証します。

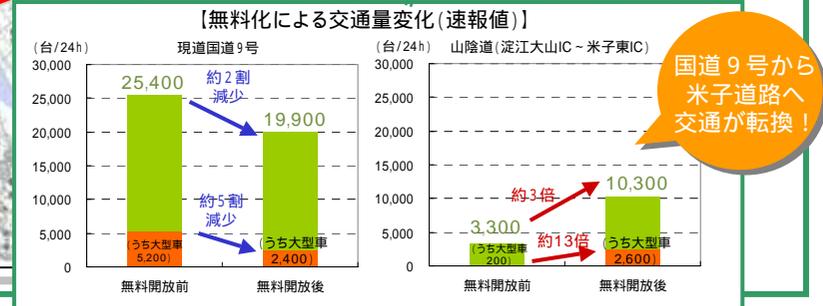


事業内容

・4月1日に、山陰道(米子道路)米子東IC ~ 淀江大山IC間の無料開放を実施しました。

効果(速報値)

・速報値では、米子道路へ7,000台/日が転換し、主要渋滞ポイント西原交差点、二本木交差点の渋滞も大幅に緩和しました。
 ・その他の周辺道路でも交通量は減少しています。



無料開放前: 国道9号がH11.10.7(H11道路交通センサ値)、米子道路がH15.10(月平均)調査結果
 無料開放後: 平成18年4月19日(水)7:00 ~ 翌日7:00の交通量

具体事業の期待される成果

国道9号 日光交差点、下坂本交差点
～ 総合的な対策により渋滞緩和を目指す～

事業内容

- ・H17年までの対策で渋滞が緩和されましたが、解消には至っていません。
- ・そのため、交差点改良及び信号現示等の対策を引き続き実施します。

期待される効果

- ・最大渋滞長500m未満、最大通過時間5分未満を目指します。



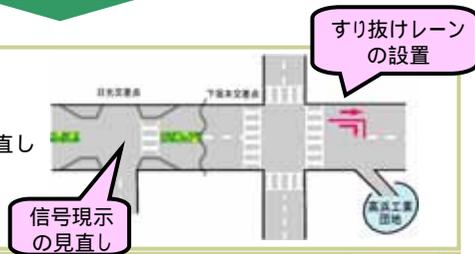
Plan 渋滞対策の必要性

- ・昨年度、日光交差点の渋滞対策を実施し、効果が得られたものの、依然として渋滞が残っている状況です。
- ・そのため、H19年度までに日光交差点及び下坂本交差点とを合わせた総合的な対策を実施します。

Do 渋滞対策の実施

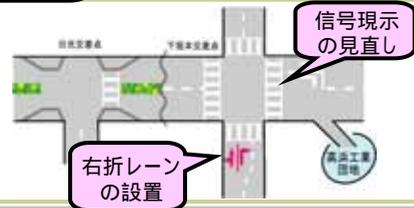
H18の取り組み

- 【日光交差点】
実験結果を踏まえ、信号現示を見直し
- 【下坂本交差点】
国道9号にすり抜けレーンを設置



H19の取り組み

- 【下坂本交差点】
県道に右折レーンを設置、信号現示の見直しにより国道9号の処理能力を強化



Check・Action

対策の実施後は、渋滞の発生状況等を踏まえて効果を把握し、改善が見られないようであれば、更なる対策を検討する予定です。

具体事業の期待される成果

(県)猪ノ子国安線 上味野交差点改良
～ 右折レーン設置により渋滞緩和を目指す～

事業内容

- ・上味野交差点では右折車を原因とする交通渋滞が頻発しているため、右折レーンを設置します。

期待される効果

- ・最大渋滞長500m未満、最大通過時間5分未満を目指します。



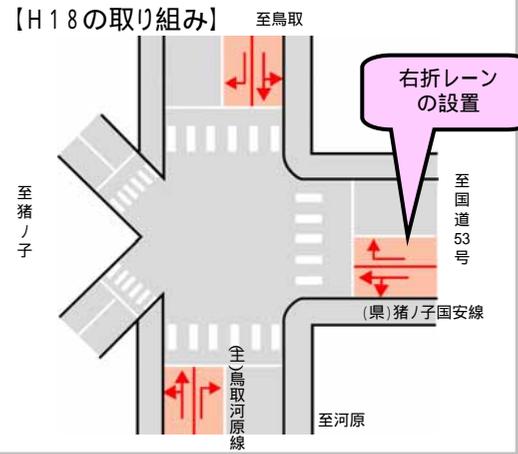
Plan 渋滞の原因

上味野交差点では、右折車両が原因の深刻な交通渋滞が発生しています。



Do 渋滞対策を実施

【H18の取り組み】



Check・Action

対策の実施後は、渋滞の発生状況等を踏まえて効果を検証します。

4 平成19年度目標達成に向けた展望

主要渋滞ポイント数の平成19年度目標値は12箇所（累計値）であり、下記の事業の完成により、さらに3箇所の渋滞緩和を目指します。



主体	効果が期待される主要渋滞ポイント	路線名及び事業名	完了予定年度
国土交通省	下坂本交差点	交差点改良 (右折レーン設置)	H19
国土交通省	今津交差点	山陰道(名和・淀江道路)整備	H19
鳥取県	小田橋西詰交差点	交差点立体化	H19